

# 令和4年度公開講座のご案内



## 令和4年度山形大学公開講座実施一覧

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者 定員	受講料	頁
山形大学のナスカ研究 (仮) ⇒ 延期	令和4年 10月上旬・11月下旬 (全2回)	山形大学小白川キャンパス及びオンライン	一般市民 学生 会場 30人 オンライン 300人	未定	1
国民国家を考え直す—— ナショナリズムと多文化 共生は両立できるのか？	令和4年 9月13日(火) 9月20日(火) 9月27日(火) 10月4日(火) 10月11日(火) 各 18:30~20:10	山形大学小白川キャンパス及びオンライン	一般市民・学生 (60人)	2,000円	2
SDGsにも繋がるトチノ キ林を背景にした江戸期 以降の行沢集落における 民俗生態誌	令和4年 1回目: 7月1日(金) 18:00~19:30 2回目: 7月2日(土) 15:00~16:30 3回目:秋頃	山形大学 小白川キャンパス	第1回・第2 回は一般市民・学生(30人) 第3回は別途 16人を募集 予定	未定	3
火山の魅力と災害	令和4年 秋頃土曜日または日曜日1回(予定)	未定	一般市民・大学生・高校生 (定員なし)	一般 1,000円 大学生・高校生 500円	4
3D計測入門講座	令和4年 9月24日(土) 10~16時	山形大学 小白川キャンパス	一般市民・大学生・大学院生 21人	一般 2,000円 (大学生・大学院生無料)	5
先史時代の食文化—旧石器時代の食事・栄養と健康—	令和4年 10月22日(土) 13:00~16:00	山形大学小白川キャンパス及びオンライン	一般市民・大学生・大学院生 (対面:60人、オンライン:90名)	一般市民500円 (大学生・大学院生無料)	6
「農学のタベ」~総合科学である農学の魅力を紹介します~	令和4年 9月29日、 10月6日・13日・ 20日・27日 (すべて木曜日) 18:30~19:30	農学部 3号館3階301講義室 (鶴岡キャンパス)	一般市民 大学生・高校生 70人程度	無料	7

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者 定員	受講料	頁
小説を書こう！	令和4年 11月10日(木)～ 令和5年 2月9日(木)(予定)	通信指導 ※一部対面式で行う場合 小白川キャンパス 基盤教育1号館	一般市民 大学生・高校生 30人	一般市民 6,000円 大学生・高校生 2,000円	8
すこやか広場(第1回) 「お友達、こんにちは」 ～幼稚園で遊ぼう～	令和4年 6月30日(木) 14:30～15:45	附属幼稚園 園内及び園庭	2～3歳児 親子30組	材料費・保険代 200円	9
すこやか広場(第2回) 「親子でぺたぺた、まぜま ぜしよう」～造形遊びを楽 しもう～	令和4年 9月7日(水) 14:30～15:45	附属幼稚園 園内及び園庭	2～3歳児 親子30組	材料費・保険代 200円	9
すこやか広場(第3回) 「お兄さんお姉さんとい っしょに遊ぼう」～附幼の お友達との交流～	令和5年 1月18日(水) 10:00～11:15	附属幼稚園 園内及び園庭	2～3歳児 親子20組	材料費・保険代 200円	9

講座名	山形大学のナスカ研究(仮) ⇒ 延期
開催期間	令和4年10月上旬・11月下旬(全2回)
開催場所	山形大学小白川キャンパス 及び オンライン
講座概要	<p>山形大学ナスカ研究所は2022年10月に開設10周年を迎えます。それに合わせて、附属博物館ではナスカ展(仮)を開催します。本講座では、山形大学のナスカ研究の歴史と最新の成果について研究者の先生方より講演いただきます。</p>
受講対象者(定員)	一般市民・学生 (会場:30人、オンライン:300人)
受講料	未定
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	10月上旬	未定	未定
2	11月下旬		未定

講座名	国民国家を考え直す——ナショナリズムと多文化共生は両立できるのか？
開催期間	令和4年9月13日（火）、9月20日（火）、9月27日（火）、 10月4日（火）、10月11日（火） 各18：30～20：10
開催場所	山形大学小白川キャンパス 及び オンライン
講座概要	世界各地で民族紛争や国境紛争が絶えません。その背景には、国民国家(ネーションステート)という国家モデルが抱える構造的な問題があります。国民国家では、国民（ネーション）の同一性を強調する傾向が強く、しばしば文化的本質論や排他的ナショナリズムが生まれ、マジョリティとマイノリティの間、隣接する国々の間で民族主義的対立が起こります。それでは、国民国家はいかにして多民族、多言語、多宗教が共存する空間をつくることができるのでしょうか。本講座では、近代国民国家形成の歴史を制度と文化の両側面から再検討するとともに、複数の事例を通して多文化共生論の課題と可能性を探ります。
受講対象者 (定員)	一般市民・学生（60人）
受講料	2,000円
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	令和4年 9月13日（火）	18：30 } 20：10	天野 尚樹（ロシア極東近現代史、サハリン島地域研究）
2	令和4年 9月20日（火）	18：30 } 20：10	小幡 圭祐（日本近代史）
3	令和4年 9月27日（火）	18：30 } 20：10	今村 真央（東南アジア史）
4	令和4年 10月4日（火）	18：30 } 20：10	源島 穰（行政学・福祉国家論・現代イギリス政治）
5	令和4年 10月11日（火）	18：30 } 20：10	丸山 政己（国際法・国際組織法）

講座名	SDGsにも繋がるトチノキ林を背景にした江戸期以降の行沢集落における民俗生態誌
開催期間	第1回：令和4年7月1日（金）18：00～19：30 第2回：7月2日（土）15：00～16：30 第3回：秋頃
開催場所	山形大学小白川キャンパス
講座概要	<p>東北地方や中部山岳地域において、トチノキという樹種の実が縄文時代以降現代に至るまで如何に利用されてきたかを学ぶと共に、庄内地方でトチノキを守り利用してきた人々の生活文化を学びます。</p> <p>第1回「トチノキとトチノキの実の利用史」 トチノキの実(以下トチの実)はデンプンを多く含むことから先史時代から利用されてきました。しかし、トチの実は毒性分でもあるアクを多く含むため、その処理のため東北地方では縄文時代以降様々な工夫をしてアク抜きスキルを獲得してきました。この講義では、トチノキの成立する場所の地形的特徴や基層文化としてのトチの実の利用の歴史について解説します。</p> <p>第2回「旧朝日村における栃餅づくりとその背景」 鶴岡市行沢（なめさわ）地区背後の共有林には千数百本のトチノキが存在することが判ってきました。江戸時代以降地区民によって育まれてきたことも判っています。この講義では、それらを明らかにした研究を紹介すると共に、行沢地区で現在まで続くトチの実の採取活動とその利用について解説します。これらの講義を通して、庄内地方の行沢地区では現在のSDGsを先取りした活動が、少なくとも江戸時代から続けられてきたことを理解してもらえらるものと思っています。</p> <p>第3回「とち餅をつくる」 とち餅をつくり、味わいながら、保存食について考えましょう（新型コロナウイルスの状況により変更になる場合があります）</p>
受講対象者（定員）	第1回・第2回 一般市民・学生（30人） 第3回は別途16人を募集予定
受講料	未定
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	令和4年 7月1日（金）	18：00～19：30	トチノキとトチノキの実の利用史
2	令和4年 7月2日（土）	15：00～16：30	旧朝日村における栃餅づくりとその背景
3	令和4年 秋頃を予定	10：00～12：00	とち餅づくり

講座名	火山の魅力と災害
開催期間	令和4年秋頃土曜日または日曜日1回（予定）
開催場所	未定
講座概要	<p>西之島新島形成、軽石漂着（小笠原諸島福德岡ノ場 2021.8 噴火）、トンガ海底火山噴火（2022.1.15）など、このところ国内外で顕著な火山現象が発生し、耳目を集めている。溶岩や火砕流はよく知られているが、大量の軽石放出や空振による津波など、火山現象にはいろいろな種類があるということが、広く知られるようになった。そういった現象の中には、第一線の科学者でさえ予想のつかないものもある。山形県には鳥海山・蔵王・肘折カルデラ・吾妻山の4つの活火山があるが、そればかりか古い時代の岩石の多くも火山起源であり、山形県全域が火山でできているといっても過言ではない。火山をよく知り山形をよく知る学びの場となる講座を開設する。</p> <p>（仮題）</p> <p>伴 雅雄「山形の火山と噴火史」30分  常松佳恵「活火山とのつきあい方：富士山の例をもとに」30分  井村 匠「活火山にみられる特徴的な温泉と火山ガス」30分  本山 功「火山地帯における土砂災害」30分</p> <p>司会：本山</p> <p>共催：山形大学災害環境科学研究センター、蔵王樹氷火山総合研究所、理学部マグマ学火山学クラスター</p>
受講対象者（定員）	一般市民・大学生・高校生（定員なし）
受講料	一般 1,000 円、大学生・高校生 500 円
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	令和4年秋頃 土曜日または日曜日 1回（予定）	10:00～ 12:00	伴 雅雄「山形の火山と噴火史」30分 常松佳恵「活火山とのつきあい方：富士山の例をもとに」30分 井村 匠「活火山にみられる特徴的な温泉と火山ガス」30分 本山 功「火山地帯における土砂災害」30分

講座名	3D計測入門講座
開催期間	令和4年9月24日(土) 10:00~16:00
開催場所	山形大学小白川キャンパス
講座概要	<p>近年、3D技術の進展は目覚ましく、文化財保存や災害など、その利用は多岐にわたります。その背景には、以前のように高価な機器を使わなくても、比較的簡易に3D計測が可能となったことが挙げられます。一方で、「どう活用すればいいのか」「そうは言ってもどうすればできるのか」などの初学者が抱える難しさもあります。そこで、本講座ではiPad Proを用いて3D計測技術の習得し、現状の限界や活用について学び、考えます。</p> <p>◆講座の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3D計測技術の習得を目指す。(実際に学内で演習も行います)</li> <li>・日常生活や自らの仕事で、どのようなことに活用できるかを参加者同士で議論することで、3Dの活用法を考える。</li> </ul> <p>※機材は、お持ちのスマホを使用します。当日は、アプリのインストールとデータ通信を行うことがあります。また、受講内容に応じて機材の貸し出しも行います。</p> <p>【担当】 白石哲也(山形大学准教授、学士課程基盤教育機構担当) 三谷智広(株式会社パレオ・ラボ/同志社大学)</p>
受講対象者(定員)	一般市民・大学生・大学院生 21人
受講料	一般市民2,000円 (大学生・大学院生無料)
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	9月24日(土)	10:00 ~ 16:00	3D計測入門講座

講座名	先史時代の食文化ー旧石器時代の食事・栄養と健康ー
開催期間	令和4年10月22日(土) 13:00～16:00
開催場所	山形大学小白川キャンパス 及び オンライン
講座概要	<p>旧石器時代は、約250万年前～1万年前と長期間にわたります。狩猟・採集の時代であり、同じ場所ではすぐに食物を採り尽くしてしまうため、絶えず移動が必要でした。生存のためには、広い面積が必要であり、定住社会の現代人の想像を超える社会です。</p> <p>今回、旧石器時代の食事をテーマとしていますが、実はよく分かっていません。それは、日本では遺跡から動植物遺体がほとんど出ず、かつ海外でも植物遺体が少なく、動物食と植物食の割合や水産資源の利用の度合いがよく分からないという点が挙げられます。では、どのように考えればよいのでしょうか？そんな話をしていきたいと思います。</p> <p>【担当】  講師：山田しょう（株式会社パレオ・ラボ）  進行：白石哲也（山形大学准教授、学士課程基盤教育機構担当）  中村賢太郎（株式会社パレオ・ラボ）</p>
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・大学院生 (対面：60人 オンライン：90名)
受講料	一般市民500円 (大学生・大学院生無料)
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	令和4年 10月22日(土)	13:00 ? 16:00	先史時代の食文化ー旧石器時代の食事・栄養と健康ー

講座名	「農学のタベ」～総合科学である農学の魅力を紹介します～
開催期間	令和4年9月29日、10月6日・13日・20日・27日（すべて木曜日） 18:30～19:30
開催場所	山形大学 農学部 3号館 3階 301 講義室（鶴岡キャンパス）
講座概要	<p>農学とは、衣食住との関わりをベースとし、人類の生存、生活に貢献することを目標とした総合科学です。本講座では、様々な分野からのアプローチで農学を紹介し、「農学」が総合科学であることを感じていただくと共に、その最新の研究について、わかりやすく解説します。</p> <p>農学が、今世紀における人類的課題と言われる人口・食料・環境・エネルギー問題にどのように挑み、どのように貢献できるのかご紹介します。</p>
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・高校生（70人）
受講料	無料
お問い合わせ先	鶴岡キャンパス事務部総務課研究・社会共創室 (TEL 0235-28-2910)



回	日 程	時 間	内 容
1	9月29日(木)	18:30 } 19:30	「家畜の飼料から見えてくること」 教授 堀口健一
2	10月6日(木)		「果樹の品種改良におけるゲノム編集の活用について」 准教授 渋谷知暉
3	10月13日(木)		「地域定住農業者育成事業の今」 教授 小沢 亙
4	10月20日(木)		「食の進化！世界の最先端トレンド」 助教 五領田小百合
5	10月27日(木)		「庄内海岸林の今昔」 准教授 柳原 敦

講座名	小説を書こう！
開催期間	令和4年11月10日（木）～ 令和5年2月9日（木） 通信指導による開催
開催場所	小白川キャンパス 基盤教育1号館 ※一部対面式で行う場合。
講座概要	<p>平成26年度以降毎年度継続的に実施しているもので、直木賞作家の高橋義夫氏を講師に招き、エンrollment・マネジメント部 山本陽史教授とともに、小説の書き方を指導する。</p> <p>対象者は、趣味として小説を書きたい方からプロの小説家を目指す方まで、年齢・性別・職業等を問わず受講可とする。</p> <p>受講者は聴講のみの参加も可能であるが、原則として未発表の作品を開講期間中に提出することとし、これらの作品について、受講者による合評と講師からのアドバイスをを行う。作品・合評・アドバイスはメールマガジンとして配信する。</p> <p>現状では令和3年度と同様、通信指導による開講を予定しているが、動画での配信やコロナウイルス感染状況が好転した場合には、一部を小白川キャンパスで対面式で開催することも検討する。</p>
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・高校生 (30人)
受講料	一般市民 6,000 円、大学生・高校生 2,000 円
お問い合わせ先	エンrollment・マネジメント部 入試課 (TEL 023-628-4063)

回	日 程	時 間	内 容
1	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
2	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
3	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
4	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
5	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
6	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
7	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
8	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
9	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)
10	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント (全受講生に配信)

講座名	すこやか広場
開催期間	令和4年6月30日（木）、9月7日（水）、令和5年1月18日（水）
開催場所	附属幼稚園（園内及び園庭）
講座概要	<p>幼児期は人格形成においてとても大切な時期です。豊かな遊びを体験し、周囲の温かい愛情と支援を受けて健やかに成長していきます。</p> <p>本講座は、3回シリーズで開催します。子どもへの関わり方のお話や親子で実際に遊びながら親子のきずなを深め、幼児期の子育てについて楽しく学んでいきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
受講対象者（定員）	第1回 2～3歳児（親子30組） 第2回 2～3歳児（親子30組） 第3回 2～3歳児（親子20組）
受講料	各回200円（材料費・保険代として）
お問い合わせ先	山形大学附属幼稚園（奥山） （TEL 023-641-4446）

回	日 程	時 間	内 容
1	6月30日（木）	14：30 } 15：45	「お友達、こんにちは」 ～幼稚園で遊ぼう～
2	9月7日（水）	14：30 } 15：45	「親子でぺたぺた、まぜまぜしよう」 ～造形遊びを楽しもう～
3	1月18日（水）	10：00 } 11：15	「お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」 ～附幼のお友達との交流～